



洪水・土砂災害 ハザードマップ

分割位置B

奥泉区 千頭東区 柳三区 坂京区
大谷区 小長井区 崎平区 洗富小幡区
沢間区 上岸区 青部区 藤川区

近年、想定を超える大雨により、浸水被害や土砂災害が多発しており、県では大井川洪水浸水想定区域及び土砂災害(特別)警戒区域の指定を更新しました。

これに伴い、町では、町民の皆さんが円滑な避難の確保を行う上で、必要な事項を周知するため、川根本町洪水・土砂災害ハザードマップを作成しました。

地域の危険な箇所や避難所を事前にご確認いただき、災害時に皆さんが安全かつ速やかに避難できるようにご利用ください。 令和3年3月作成

洪水・土砂災害ハザードマップの使い方

- 1 まず、自宅の位置を確認しましょう。
- 2 次に、自宅付近の避難所を確認しましょう。
- 3 危険な場所を避けて、避難経路を設定しましょう。
- 4 実際に避難経路を歩いてみて、安全を確認しましょう。

いざという時に備え、
事前に確認しましょう。

自宅での準備

わが家の避難所 各自分で調べて記入しましょう。

名 称	家族と連絡がとれない時は?
住 所	NTT災害用伝言ダイヤルの活用
メモ	伝言の録音方法 171にダイヤル イナイ ガイダンスが流れます。 録音の場合 171+ 市外局番+自宅の番号
	伝言の再生方法 171にダイヤル イナイ ガイダンスが流れます。 再生の場合 2+ 市外局番+自宅の番号

■ハザードマップを見て自宅のある場所を確認しましょう

自宅は洪水浸水想定区域内(着色部分)にあるか ある ない自宅は家屋倒壊等氾濫想定区域内(斜線・網掛け)にあるか ある ない

浸水深は m

自宅は土砂災害警戒区域内(黄枠)、
土砂災害特別警戒区域(赤枠)にあるか ある ない

■日頃から、避難行動について考えましょう

 わが家は自宅に留まり安全を確保します わが家の地域に警戒レベルが出たら...

安全な の家に避難します(親戚や知人宅を書きましょう)
 町が指定した に避難します(避難所の名称を書きましょう)

※避難行動について家族で話し合いましょう

持出品チェックリスト いつでも持ち出せるように、ふだんから準備・点検をしておきましょう!

- 貴重品
- 身分証明書
- 健康保険証
- 印鑑
- 現金(小銭を含む)
- 袋類
- ゴミ袋、レジ袋
- チャック付きビニール袋
- 小物道具類
- 懐中電灯
- ヘッドライト
- 常備薬
- おくり手帳
- 電池
- 携帯電話、充電器
- 水・食料など
- 飲料水
- 非常食
- ティッシュ
- タオル
- スリッパ
- 靴下
- マスク
- レジャーシート
- 生理用品

上記以外に、個人や家庭の事情に合わせて、赤ちゃん用品や高齢者用品などの準備も確認しておきましょう。

緊急連絡先

川根本町役場 電話 0547-56-1111
川根本町役場総合支所 電話 0547-59-3111
川根本町建設課(防災担当) 電話 0547-56-2227

警察 110 消防 119

災害時の警戒レベルと情報

※警戒レベルと避難情報の関係性はココからチェック⇒



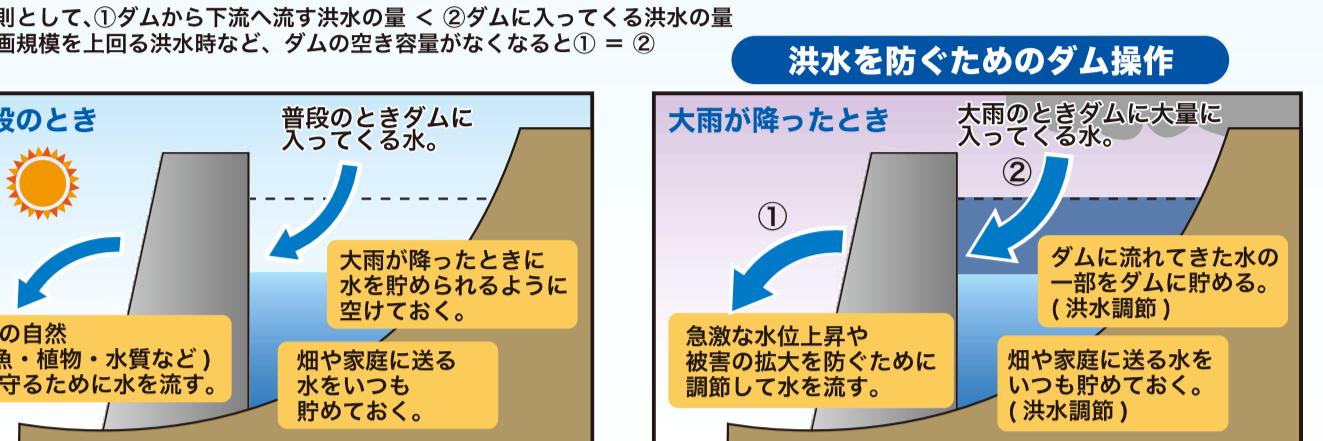
洪水・土砂災害を知る

洪水時における長島ダムの役割について

長島ダムには、洪水調整の役割があり、大雨のときには川の水位が急に増えないよう調整し水を流します。

長島ダムによる
防災操作の
仕組み

- 平常時 洪水が少ないと、ダムへ流入する洪水の一一部を貯水池に貯め、下流に流しても安全な分だけ放流します。
- 洪水時 異常に大雨により、ダムで貯めることができない場合は下流に流す量を徐々に増加させ、上流から入ってくる水の量をそのまま下流に流します。



大井川の水位変化

以下の状況がある際、川に近づかない。

- 川の水が増えたとき
- 急な大雨が降ってきたとき
- 夜に空が暗くなってきたとき
- 雷が聞こえてきたとき

水位観測所	水防回復機水位	氾濫注意水位	避難判断水位	汜濫危険水位	観測所 QR コード
川根大橋	2.70m	3.30m	4.00m	4.52m	
中徳橋	3.50m	4.40m	4.80m	5.20m	

大井川(川根大橋)平常時と大雨時の水位変化



土砂災害について

土砂災害とは、大雨や地震などにより、山やがけが崩れたり、水と混じりあった土や石、木などが川から流れたりすることによる自然の災害です。



土砂災害の主なものは、急傾斜地の崩壊(かけ崩れ)、土石流、地すべりがあります。これらの土砂災害について、発生の恐れのある区域が、静岡県により指定されており、被害の危険度に応じて土砂災害特別警戒区域と土砂災害警戒区域に分かれています。

